

地球人よ熱く語れ!

新津インターナショナルコンテスト開催される

昨年11月20日(土)、新津市視聴覚ホールを会場に恒例の日本語作文と英語スピーチコンテストが実施されました。各部門合わせて中学生15名、高校生5名の応募があり、まだまだ少数でしたが、内容レベルは年を重ねるごとに上がり、審査員の評価も高まりました。審査委員長の外山節子氏(日本語指導者組織の全国委員長)は、「誰を最優秀賞と優秀賞にするかでとても悩みました。」とおっしゃっていました。ほかの審査員(市内のAET)からも「みんな、頑張りましたね。」とお褒めの言葉をいただいていた。

私達のアメリカホームステイ

★自分の意見を持とう

神蔵いずみ

「国民性の違い」、これが一番印象的でした。まず、空港で初めて会った時、彼等の歓迎の仕方に驚きました。いきなり私に抱きついてくるのです。後でわかったのですが彼等は初対面の人にもいつでもこのように挨拶するのだそうです。また、とても親切に気遣って世話をしてくれ、私の辞書をひきながらの会話も楽しくしてくれました。

彼等は個々の考え、宗教、習慣を大切にしています。私の話もよく聞いてくれましたし、意見が違ふときはそれを率直に話しました。でもそれは自分の意見を押し付けるためでなく、ただ自分はこう考えているということを知って欲しいだけだそうです。たとえ、異なる意見でも良く聞いて、考えて、最終的には意見があわなくてもそれはそれでよしとするのです。一番悪いのは自分の意見がないということ。で、「日本人の中で自分の考えを持っているのかわからない人がある。はっきりと発言できないのだ。何かを聞いても曖昧な返事で、何を考えているのかわからない。だから時々困る。」と言いました。それはお別れの前日でした。自分の反省も含めてもっと話がしたかったのですが、このときほど時間が惜しかったことはありません。今後の私の大切な課題になりました。

それぞれの入賞者にはクリスタルの楯が贈呈され、特別賞の入賞者にはアメリカでのホームステイが贈られました。(6/24の総会で、この学生達の報告会を致します。)

各部門の受賞者

(敬称略)

		中学生の部	高校生の部
作文 英語	最優秀賞	佐々木 総(第5中)	落合恵津子(新津南高)
	優秀賞	帆苅 恵美(第1中)	川田 友理(新津高)
	最優秀賞	神蔵いずみ(第5中)	川田 友理(新津高)
	優秀賞	原 裕子(第2中)	茨木三千代(新津高)
NICE 特別賞		川田 友理(新津高) 原 裕子(第2中)	神蔵いずみ(第5中) 江本 泉(第5中)

1993年 12/21~27の7日間、受賞者がサンフランシスコ郊外のモデスト市に滞在したときの報告の一部を紹介します

★緑あふれるモデスト市

川田 友理

私が滞在した所は、映画「アメリカン・グラフィティ」のモデルになった都市でサンフランシスコから2時間の所だった。人口は新津よりすこし少ないが、とても広々としていてメイン通りは8車線もあるとにかく広〜いという印象なのだ。ほとんどの家は平屋でピンク、黄色、水色の家がいかにもアメリカ的で素敵だ。中でも私が一番気に入ったのは道路の両側の樹木で、町中がまるで並木道のような感じがした。

最近では新津でも新しい住宅街が開発されているが、マッチ箱を隙間なく建てているようで、どうしてももう少しゆとりを持ってないかと残念になる。「花と緑の新津市」にふさわしいような綺麗な並木道にチャレンジしてみてもどうか。



花と緑の園芸種苗 (株)新津園芸

代表取締役 佐藤 栄

新津市大字浦興野18 ☎(22)5462 FAX(24)9944
関東営業所/今市市倉ヶ崎茶臼山下 ☎0288(24)2299



Landscape Design

カーポート、玄関アプローチの自然石・インターロッキングブロック舗装

企画・設計・施工

株式会社景観設計

新潟市一日市諏訪180

☎(025)270-6954 FAX(025)274-1389

花と緑と川のまちづくりを訪ねて

市民海外派遣研修

私の見たドイツ

楠田 久美子

9/22~29の8日間、生まれて初めての海外体験をさせていただきました。毎日毎日期待と興奮で心が躍りました。雄大な山々、緑の丘、花いっぱいの家々の窓、中世の宝石といわれる古城の数々、おとぎ話の一場面を見るような、長い歴史と文化が自然の中に溶け込み、日本の観光地では見られない、それはそれは見事な景色でした。

ゼーパッハの村長さんからは地域おこしに取り組んで成功をおさめられた話を聞きました。お話の中で、「日本には銅像や彫刻が多いですが、ドイツでは銅像の代わりに公園を作り、ベンチや椅子を置いて座ってお話できる場所をつくります。」という言葉が印象的でした。

偶然近所の学校訪問ができたのですが、ドイツでは小学校から消費者教育をし、甘い物を少なくして、野菜を多く食べるように指導しているそうで、休み時間におやつを食

べていましたが、ピーマンの酢漬け、リンゴや洋梨のまるかじりが多かったのには驚きました。スーパーではビニール袋は有料だし、環境保護、ごみの減量に感心しました。

この研修中、あれこれと聞きたいことがあったのですが、異文化の国を理解するには言葉の壁を乗り越えないといけないと感じました。物の見方も今までとは随分違ってきただけです。本当にすばらしい研修でした。



ライン川と阿賀野川

真野 亜弥子

今回の研修では私は特に「ライン川下り」に非常に関心を持っていました。115年前に津川から新潟まで阿賀野川を下った英国女性イサベラ・L・バードは紀行文のなかで阿賀野川の景観の美しさはライン川に見劣りしないと表現



していて、それから100年たった現在では一体どうなのか、またどのようにしてこの自然を町づくりに生かしているのを知りたかったのです。

私は阿賀野川に沿って車を走らせたことは何度もあり、その季節ごとの美しさを知っています。だから、じっさいライン川を見るのが楽しみでした。結論は、どちらも同じように美しい、でもその美しさは全く別個のものなのです。ライン川では緯度が高いため針葉樹が多く、紅葉などは見られませんが、その代わりに異国情緒あふれる古城や塔が数多くあり、世界的に有名な観光地であるローレライの岩もありました。

一番大きな違いは、ここでは川は物資輸送の手段として今なお重要であり、大きな船が3隻も横にならなすれちがうほどでした。きっと昔は蛇行続きの上、川幅が狭くなるローレライ岩周辺は船員にとってやはり「難所として恐れるに足る」場所だったのでしょう。

このような世界的に有名な観光地でさえ、説明不足のために観光客を失望させてしまうこともあるでしょう。そこで、阿賀野川を今以上の観光地にするのなら、ハード面だけでなく、例えば名所、難所の由来などソフト面も充実させる必要があると感じました。

育くむ...花を、緑を、夢を

造園・緑化と花卉園芸



株式会社

日園



本社 新潟市子成場707番地 ☎(0250)24-3322
低温倉庫 新潟市川根甲181-1 ☎(0250)23-3644
営業所 新潟市女池7丁目1-6 ☎(025)283-1535

内科・小児科・レントゲン科

大坂医院

新町1丁目6-12 TEL 24-5122